

はじめに

課長に質問

はじめて

今年の4月から、協和厚生園支援課課長に加藤崇、十倉厚生園支援課課長に後藤悠介が就任いたしました。今回、同時期に就任され、約半年経過したお二人に、いくつか質問をさせていただきました。

Q1 今回の人事について、初めて聞いた時の率直な感想を聞かせてください。

後藤課長（以下後藤） まず初めに細野前課長が退職されるということで、率直に驚きと不安を感じました。また、課長人事のお話をいただいたことについては、恐縮する気持ちと同時に身の引き締まる思いを感じました。



加藤課長（以下加藤） 人から期待されている・任されているという嬉しさが半分、本当に大丈夫か・すぐに正体がばれてしまうのではないかという恐怖が半分…。

Q2 4月以降、会議等で顔を合わせることがあると思いますが、会議以外の時間でお互いどのような話をされることが多いですか。

後藤 加藤課長は、十倉厚生園で共にお仕事をさせていただいていた時から、頼れる先輩ということで、いろいろな場面でアドバイスをいただいており、今も対外的な事柄の調整など、教えていただくことが多いです。

加藤 どんなことが辛いか、どんなことが大変か…悩みを共有して自分だけじゃないと傷をなめあっています。

職員の動き

寄付・御礼

新規採用職員

園部 淑子（協和厚生園）
久保田 智美（協和厚生園）
笹岡 孝治（十倉厚生園）
松井 香織（十倉厚生園）
金澤 勝利（九十九荘）

十倉厚生園 家族会様
セブンイレブン 富里七栄北店様

おわりに

お忙しい中、質問に真摯に答えてくださる姿に、お二人の誠実な人柄が感じられました。これから難しい問題に直面することもあるかと思いますが、存分に手腕を發揮されることを祈念いたします。

Q3 今一番やりがいを感じていることはどんなですか。

後藤 現時点では、「とにかく日々精一杯！」といった状況ですが、責任を求められる仕事にはやりがいを感じています。

加藤 異動してきて本当に感じたのは職員の方々のモチベーションが高く、園全体が良い意味で家族的な雰囲気で、とても居心地の良い空間だったことです。正直、建物は老朽化が進んでしまっていますが、それに負けない創意工夫と支援力で利用者さんにとっていろいろな意味で居心地の良い環境を整えていきたいです。

Q4 今後、現場で変えてみたい、挑戦してみたいことはどんなことですか。

後藤 大々的なことを考える余裕はまだありませんが…十倉厚生園は開所20年を経ましたが、これからも常により良く変わっていける施設にしていきたいと思います。

加藤 利用者さんにも職員にも複雑化しすぎて迷ったり見えなくなっている部分もあるのかなと感じる事もあるので必要な部分には「わかりやすくシンプルに」をモットーに視覚化・構造化のアイディアを取り入れていきたいと思っています。

Q5 最後に気分転換、ストレス解消法を教えてください。

後藤 これと言ったストレス解消はしていませんが…おすすめの方法がありましたら、是非、教えてください♪♪

加藤 そうですね。家に帰ってから、その日あった出来事を最愛の妻と語り合っている時間でしょうか…。

理事長より二人にメッセージ
これから法人にとっての大変な人材です。
体に気を付けて頑張ってください！！



No.68 2019.10.12発行
社会福祉法人 清郷会
協和厚生園／日吉厚生園／九十九荘
十倉厚生園／ティとくら・輝
青空保育園／ワークわく・きよさと
ほっとライフ・きよさと
TEL0476(93)1535㈹



九十九荘が地域の給水所となり
災害派遣により習志野空挺団第二普通科
大隊（足立隊長）が派遣されました。
元自衛官の職員（大瀧・三橋）が感謝の訪問。

今回台風15号が千葉県に上陸し県下倒木等により、清郷会の所在する富里市においても長時間の停電がありました。各方面よりお見舞いのメール、電話又は心温まる救援物資等が寄せられお礼の言葉もありません。日頃より災害に対する備えは万全を期しておりますが、各施設に計4本の自家用井戸が設置しており発電機を繋げることで生活用水を確保し、食事については備蓄してある非常食で問題なく対応できました。停電の復旧状況は九十九荘55時間、協和エリア（日吉・ワーク含む）は62時間、十倉厚生園・青空保育園は76時間、グループホーム6か所の内2か所は250時間の停電となりました。今回の台風での教訓は日頃からの備え、そして法人間の共助・連携の在り方を痛感しました。停電の無かった近隣の法人から、おにぎり130個、洗濯機・乾燥機の使用、熱中症予防の水、飲料水、ガソリン等の支援、また他県の法人からはカップ麺500食が届きました。今後の法人間連携の在り方と重要性を教訓としていきたいと思います。

今回ご支援下さった関係各位の皆様方に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

理事長 三橋 輝男

特集「九十九荘 振り返る平成、これからのは令和」	2
ほっとライフ・きよさと「BBQ&新ホーム紹介」	3
協和厚生園「委員会紹介」	4~5
九十九荘「九十九荘夏の食楽」	6~7
青空保育園「体育遊び」	8~9
十倉厚生園／ティとくら・輝「令和元年の夏」	10~11
日吉厚生園「日吉台小学校交流会」	12~13
ワークわく・きよさと「施設外就労・定着支援」	14~15
新課長インタビュー・新規採用職員・ご寄付御礼	16

台風15号での教訓

清郷会のホームページアドレス

<http://www.kiyosatokai.or.jp>



ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

ほっこリライフキヨサヒ

BBQ&新ホーム紹介（藤井ハウス）



開始準備はみんなで協力



みんなで食べるとおいしさ倍増!!



早く火が付かないかなあ~



広いリビングです



藤井ハウス外観です

9月1日より入居開始となりました。
次号、藤井ハウスメンバー紹介
お楽しみに!!!



特集

九十九荘

振り返る平成、これからの令和

施設長
鈴木光一

清郷会に入職後、22年が経過しました。平成を振り返ると色々な出来事がありましたが、中でも一番印象に残っている出来事は、担当していた利用者様との別れです。「終の棲家」と言われる施設であるため、自分なりに施設の特性を理解していたつもりでしたが、実際にその場面に直面した時の衝撃は今でも忘れることが出来ません。「死」というものを考えさせられる出来事でした。それから何人の方々を「お見送り」させていただきましたが、いつも考えてしまうことがあります。「九十九荘で幸せに過ごすことが出来たのだろうか」「九十九荘で良かったのだろうか」「やはりこうするべきだったのではないか」等、自問自答するばかりで、なかなか納得できる答えに辿りつく事が出来ません。時代は令和に移りましたが、施設利用者様、ご家族様、そして職員全体が、「九十九荘で良かった」と思っていただける施設を目指して新しい時代を歩んでいきたいと思います。

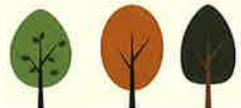
平成6年、九十九荘開所と同時に私は勤め始めました。その当時の私は、前職を辞めアルバイトを成田空港でしていました。そこで初代の事務長の吉田さんと出会い、老人ホームがオープンするけど一緒に行かないかと誘われ、介護の仕事が何をするのかも全く知らないまま、二つ返事で『行きます』と答え、そのまま25年居座ってしまいました。その25年の利用者との関わりの中で、障害を持っても、認知症になってしまっても、力強く生きる人々にいつも勇気をもらっていました。介護の素晴らしさは、色々な人と出会い、その人の90年、100年をそのまま全部受け取り、自分の人生の糧とし、自分の思考の幹を育てていくことではないかと思います。そんな私が大切にしたいと思っていることは、「誰に対しても差別や区別をすることなく常に偏見を持たず自然体でいる事」、そして施設は、「ただそこに門を開いて静かにあり続ける事」。現在の私は施設がそこにあり続けるための方策を日々考えています。吉田さんとの出会いから始まった私の介護人生は、今後も色々な人の出会いによって、幹を太くし、年を重ねるごとに豊かに生きたいと思います。

生活相談員課長
菅澤貴則

皆さんこんにちは。多古生まれ多古育ちの菅澤貴則と申します。今年で46歳になりました。趣味としては釣り、ドライブ、お酒(嗜む程度)、アウトドア、ガーデニング等々です。

平成6年、専門学校を卒業し、介護という言葉さえ知らなかった自分が九十九荘に就職しました。デイサービスの配属でした。今現在でも変わりませんが、あの当時はかなりマイペースだったと思います。マイペースだった自分に、毎日のように自分の母親世代の主任から、ほぼ毎日居残りを命じられていたのを思い出します。移動・移乗の訓練や食事介助の仕方。その他もろもろ指導を受けていました。特養の主任になった時には今は亡き前島施設長にもよく怒っていた事、今ではいい思い出となっています。今現在では課長として職務に励んでいます。利用者・ご家族の皆様に笑顔で安心した生活・信頼される施設。職員の働きやすい職場。誰もが笑顔の絶えない施設を目指し頑張っていきたいと思います。

事務長
土屋亮太





協和厚生園

委員会活動

協和厚生園には、「自治会活動」「給食委員会」「新聞委員会」の利用者の方々を主体とする委員会組織があります。どの委員会も利用者の方々の生活の質の向上をめざし、試行錯誤しながら取り組んでおります。

また、職員のスキルアップを目的とした「園内研修委員会」なども設置されています。

今回は協和厚生園の数ある委員会等の中からそれら4つの紹介をしていきます。

自治会



協和厚生園では利用者の皆さん自身が、「地域との交流を深め、より過ごしやすい施設をつくりていこう」という目的の下、代表として選ばれた役員を中心に、利用者さん全員で意見を出し合ながら、園内外の環境整備活動や地域交流行事への参加、法人内の施設との交流等、様々な形での活動を行っています。

今年度は、今まで以上に園外での活動に力を入れ、日吉台地区のゴミ拾い活動や、九十九荘の皆様との交流会、イオン成田店のイエローレシートキャンペーン等にも積極的に参加しています！

↓令和初の自治会役員です。



←1年間頑張ります!!

役員の司会による「さくらの会」が毎日曜日開催されます。利用者の方々による利用者の方の為の会であり、より良い施設つくりを行っています。



2月に行われた利用者の方々による自治会選挙の様子。立候補された利用者の方々が投票前の最後のお願いを皆さんに熱弁しています。この後の投票により、4月から1年間自治会役員として活躍するメンバーが決定します。



富里市からの委託で行っている美化運動（アダプトプログラム）です。自治会活動の日や班活動の中でも積極的に行ってています。日頃よりお世話になっている地域の方々に少しでもお返しが出来ればと、感謝の気持ちを込め取り組んでいます。



生活に関わるポスターが園舎内には多数作成し、掲示してあります。

毎月11日にイオン成田店で行われている幸せの黄色いレシートの日に、今年度より自治会の役員の活動として参加しています。沢山のお客様の中、照れや緊張も抱きつつ、皆さん頑張っているので、11日にイオン成田店でお買い物の際は、是非お声掛けください。



8月11日の夏祭りでは、「焼きとうもろこし」の販売を行いました。皆さん、前日よりとうもろこしの皮むきや、当日の下ゆで、そして販売と大忙しです。小さなお子様でも食べやすいように、ほぐしたコーンの用意もあるなどの細かい配慮。そして役員の皆さん頑張りのおかげで完売いたしました。

新聞委員会

職員へのインタビュー中!!
インタビューの内容を書き取るのも大変です。



出来上がった
トライアングル通信を
保護者の方に無事渡せた
時は感無量です。

新聞委員会の活動内容は、年3回ご家族に向けて発行している「トライアングル通信」の掲載記事を話し合ったり写真を選んだり、時には取材を出てインタビューをしたりと、新聞作りを行っています。

年度初めに、利用者自治会「さくらの会」で参加者を募り、今年度は3名の方が委員として活躍する事になりました。

「トライアングル通信」の名前の由来は、利用者・ご家族・園（職員）の三角形の関係を大切にし、力を合わせてより良い環境を、より良いサービスが提供できるようにとの、願いが込められています。第1号を発行してからはや7年。ご家族に少しでも園での生活、作業内容、行事等を、又利用者一人ひとり活躍されている姿を紹介できるように頑張っています。

給食委員会

配膳中は皆無言で真剣です。
配膳は給食委員の最も重要な仕事です。



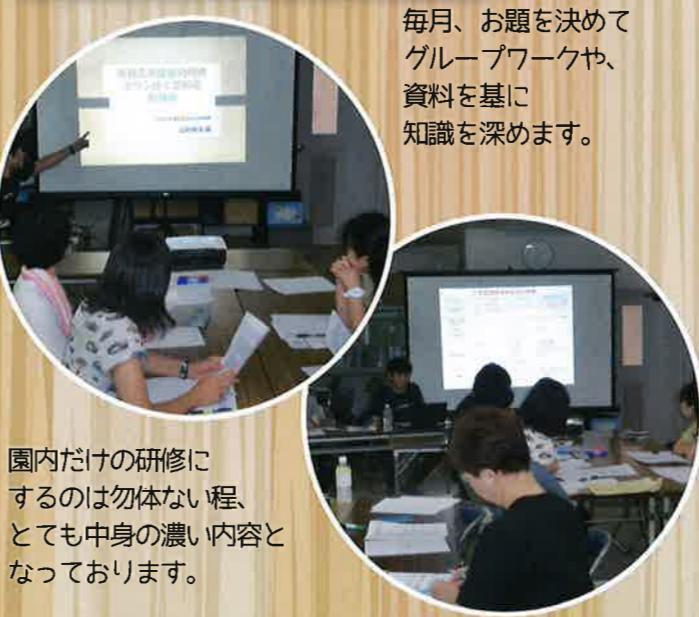
協和厚生園の皆さんは食べる事が大好きです。その中でも特に、食に対して強いこだわりと責任をもっている方が給食委員を務めています。協和厚生園のご飯をより美味しく、より楽しく召し上げるように、我々は日々考えています。

また、活動の一環として月に一度特別メニューを提供する「さくら食堂」がありますが、今年度は一人ひとりのニーズに出来るだけ応えられるように各班でメニューを考えるなど、委員会の枠を超えて、より良い食事を楽しめる工夫をしております。お腹が減ったら是非さくら食堂にお越しください。（笑）利用者一同お待ちしております。

毎月会議を行い、翌月の献立に反映させます。

園内研修委員会

毎月、お題を決めてグループワークや、資料を基に知識を深めます。



園内だけの研修に
するのは勿体ない程
とても中身の濃い内容と
なっておりました。

年度初めに園内研修委員会を行った際、各メンバーの意向として園内研修が本当の意味で「みんなで学べる場でありたい」ということで話し合いました。協和では外部に研修にいく機会が多く、研修に参加した後は支援課会議で報告書を元に感想程度に研修内容を話す程度でしたが、せっかく良い研修に行っているのに、研修内容が伝えられないことは勿体ないのではないかと考えました。

そこで外部研修の発表の場を園内研修で実現できないかということ、また、各委員会で活動している内容を伝える場でありたいということをメインに考えました。年間スケジュールでは足りないくらいに研修テーマが多く、研修内容の変更を余儀なくされる程に充実しています。今後も基本的には情報共有の場で、みんなで学べる場としての園内研修であればと願っております。

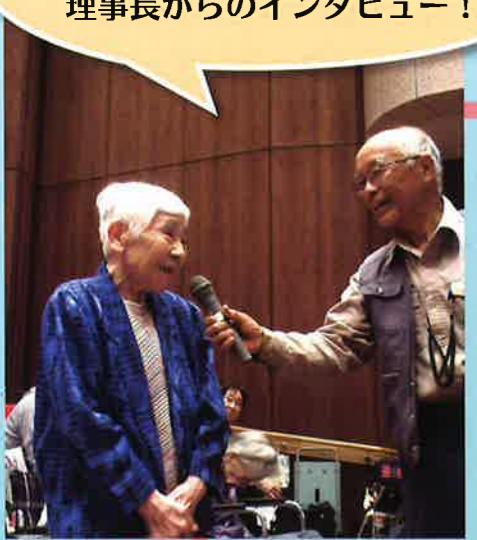
九十九荘 令和食い倒れ！

九十九荘の利用者さん達は、皆いくつになっても食べる事が大好きです！

年号は令和に変わりましたが、皆さんのお食欲は変わらず旺盛です！

1年間で色々な行事がありますが、食べ物が絡むと良い笑顔をされます。

100歳になるKさんです。
あまりの元気な姿に、
理事長からのインタビュー！



外出の時は美味しい
お弁当を用意していきます



バイキング

バイキングでは、食べたいものを選べます(^^♪)



スイカうめー (*'ω'*)



スイカラードレース

甚兵衛に着替えて準備OK！



いつの間にかビール飲んでました…
美味しそう (*'ω'*)

納涼祭



冷やしラーメンも
好評でした！



ひ孫と一緒に
美味しいね！



流し
そうめん



流しそうめん食べ放題！揖保乃糸でした！
食べ終わった後皆さんニコニコしてました



らいおん

組体操の練習を頑張つていらりおん組!みんなで力を合わせて、やりぬくことの大切さを学ぶことができました!また、鉄棒は全員が逆上がりができるように練習中です!



ぎりん

楽しみながらバラバルーンの練習をしたり、外では一等目指してかけっこ練習に取り組んでいました!様々な練習を通して、頑張ることの大切さを学びました!



ぱんだ

かけっこ練習では笛の合図でスタートしたり、腕をよく振って走る練習をしています。鉄棒では足抜けや前回りに挑戦し、少しずつできるようになってきました!



さくらんぼ

さくらんぼ

鉄棒もがんばってるよ!

みんなにやわらかいよ!



今年度から2歳児クラスも体育遊びに参加!初めての男の先生に泣いてしまう子もいましたが、今では先生とかけっこやマット運動をするのがとっても楽しむ子どもたちです!

親子体操



ぶどう組、どんぐりクラブの保護者の方が参加して下さった親子体操。親子で柔軟・マッサージを体験し、楽しく体を動かしました。子どもたちもママと触れ合えてとても嬉しそうでした!

AOZORA HOIKUEN

青空保育園では毎週月曜日に体育遊びをおこなっています。今の時期は、10月の運動会に向けて各クラスの子どもたちが練習を頑張っています。今回は、そんな元気いっぱい体を動かしている子どもたちの様子を紹介したいと思います!

体育のチカラでみんな元気だ!

来年は体育遊び
がんばるぞー!

おめでとう

いちご

こんにちわ! 今年度より青空保育園で体操指導をさせて頂いております。幼児活動研究会の國吉です。

前任の最首の思いを引き継ぎ、保育園の体育遊びでは、園庭でかけっこや鉄棒、ホールでもマット運動や跳び箱を使って、子どもたちに「できること」を指導して、運動の「たのしさ」を伝えています。

私たちコスモスポーツクラブでは、「スポーツクラブ」と名がついた会社ですが、スポーツを通じて「約束を守ること」であったり、「思いやりを持つこと」「困った人がいたら助けてあげる」などの「心」も育んでいきます。

近年、子どもたちが外で遊ぶ環境が減ってきたと感じます。体操を通じ、「〇〇ができるようになって公園で見せてあげるから、遊びに行こう!」との声を家庭でたくさん保護者の方へ伝えてくれるよう、お子様の成長を全力でサポートしていきます。宜しくお願いします。

コスモスポーツ
國吉 和彦先生



十倉厚生園 「令和元年の夏」

なかなか梅雨が明けず、すっきりとしない天気が続いていましたが、7月も終わりとなる頃、ようやく夏らしい夏がやってきました。猛暑日が多くたった「令和元年の夏」でしたが、利用者の皆さんは、とても元気に夏を楽しんでいました。様々な活動の中からとておきの名場面をお届けします。

夏の作業風景

今年度より、農園班と園芸班が共に活動する事となり、新生「農園班」が誕生しました。男性13名、女性7名の合計20名の大所帯となりましたが、皆さんで助け合いながら、いい汗を流して頑張っています。



園庭の整備ならお任せ下さい。剪定した紫陽花の枝葉を運搬して片付けています。

野菜作りも頑張っています。ピーマン、ナス、インゲン、しし唐、水菜、春菊等たくさん収穫出来ました。

花壇の草取りや水遣りをしています。今年もひまわりがたくさん咲きました。

夏の外出



暑い夏を乗り切る為、美味しい鰻を食べに外出。成田山や房総のむらを散策して楽しい一日になりました。

夏の余暇と言えば水遊び!!水風船を沢山作り、利用者さんも職員も童心に返り園庭でびしょぬれです。少しくらい濡れても、皆さん良~い笑顔。

夏の余暇活動



園での食事も季節に合わせて夏は涼しげに。この日は天ぷらに素麺、デザートにスイカも付きました。麺類は大人気です。

夏の行事



真夏の祭典! 今年度は駐車場で開催! 地元の方も招待しガパオライス、ウィンナー串、タンドリーチキン、素麺、ナスの揚げ浸し、かき氷等を食べながら、的当てゲームも楽しみました。蒸し暑さを吹き飛ばし、大いに盛り上がりました。

暑い日差しが降り注いでいてもプールに入れば、ひんやり! とても気持ち良さそうですね。

夏の大ニュース

7月5日(金)、
新しいマイクロバス納車!



この度、十倉厚生園家族会様の補助を含め、外出用車両として29人乗りマイクロバスを整備する事が出来ました。謹んで感謝の意を表します。

新課長の紹介



今年度の4月から前任の細野から引き継ぎ、支援課長になりました後藤です。

微力ながら、十倉厚生園を利用している皆さん笑顔で生活できるよう尽力していきたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

*写真は、文化祭にて黒柳徹子さん風の仮装をして接客されている姿です。

デイとくら・輝

デイも、暑さに負けずに楽しく過ごせるように、行事や外出・日中活動を行っています。室内外も涼を求めて一工夫してみました。

室内外空間は、涼を求めて装飾。



透明のプラスチックで室内を飾りました オーシャンブルーのグリーンカーテン

個別外出では、プールや海に行きました。



プール後の昼食タイムです



九十九里浜を散策



納涼ビアガーデンの食事



調理活動

『フルーツの生春巻き』



ライスペーパーとフルーツで涼しげなおやつになりました。



みんなで作ったトーテンポール

日吉厚生園

日吉厚生園では、年に2回、富里市立日吉台小学校4年生の皆さんと交流会を開き、生徒の皆さんとの親睦を深めています。6月には交流会を、12月には法人内の畠でとれたサツマイモでおいもパーティを行っています。今回はその様子をご紹介します。

交流会

6月19日、日吉台小学校の4年生が53名、日吉厚生園に来てくれました。この日は天気も良く、グランドで利用者さんと小学生がペアになり、大玉転がしなどのゲームを行いました。白熱の大接戦で、周囲から大きな声援が沸き、とても盛り上がりました。その後、一緒にジュースを飲んだり、フォークダンスを踊って交流を深めました。生き生きとした皆さんの表情がまぶしい一日となりました。



大玉転がしスタート前、まだお互い緊張している様子です。



利用者さんと小学生でペアを組み、グランドを走り回ります。



最後は皆さんと一緒にフォークダンス「ジャンカ」を踊りました。



「とっても疲れたけど、とっても楽しかった！」

おいもパーティー

12月には日吉台小学校に招待していただき、おいもパーティが開かれます。10月に法人内の畠で利用者さんと一緒にサツマイモ掘りを行い、そのおいもを使ってスイートポテトなどお菓子を作ってくださいご馳走になります。皆さんで同じテーブルに座り、おいしいお菓子を食べながら楽しいひと時を一緒に過ごすことができました。



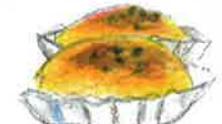
皆さんのが作ってくれたスイートポテトとてもおいしいです。



○×ゲームに挑戦、皆さん悩んでいます。



皆さん一緒に集合写真です。



真剣に質問に答えています。



「美味しいかったよ。また、おイモ掘りに来てね！」

ワークわく・きよさと

新たな施設外就労での取り組み

平成31年4月より新たな施設外就労として富里市福祉センターの館内清掃が始まりました。
(月)(水)(金)の週に3回、職員1名・利用者3名のグループを組み10時から14時30分まで行っています。

施設外就労とは…

職員・利用者がチームを組み
企業へ出向いて仕事をすることです。



施設外就労の予定が掲示されると
自分がいつ入っているのかを確認します。
みなさん自ら確認している様子が見られ
仕事に対する意欲が感じられます。

清掃内容



福祉センターを気持ちよく利用していただけるよう「丁寧に！きれいに！」を心掛けています。

広い館内の清掃も初めに比べると効率良く進められるようになりました。

施設外就労を通じて仕事に対する責任や他者への気遣い、協力し合うことの大切さなど

学ぶことが多い、この経験は私たちにとっても自信に繋がっていると思います。

今後も職員・利用者の皆さんと力を合わせて頑張ります！



担当してくださっている南東様よりコメントを頂きました。

富里市社会福祉協議会では、本年度より指定管理を行う福祉センターの日常清掃をワークわく・きよさと様へお願いすることとなりました。当初は長年担当していた清掃業者を変えることで不安もありましたが、実際に業務に入っていただくと、仕事の丁寧さやこちらからの依頼への対応の早さに驚くばかりです。また、皆さんが一生懸命働いてくださる姿は、福祉センターを利用しているお客様にも大変好評です。これからも、引き続きよろしくお願ひいたします。



社会福祉法人
富里市社会福祉協議会
福祉センター担当 南東様

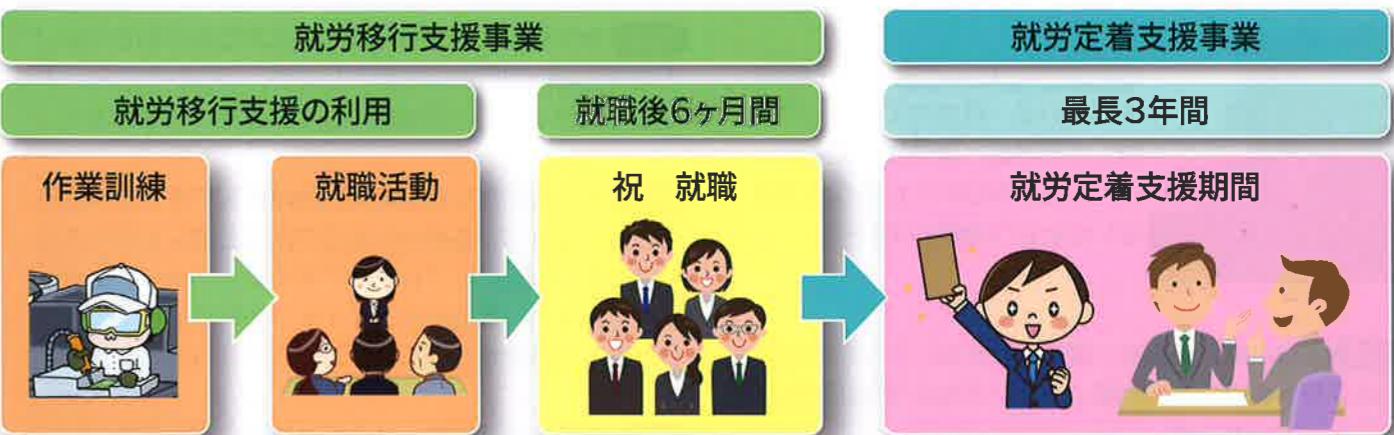
就労定着支援事業はじめました！

「就労定着支援事業」は、平成30年度に新たに創設された障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの一つです。ワークわく・きよさとでは、1年遅れで、平成31年4月より開始いたしました。厚労省によると、『就労移行支援等を利用して、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所、家族との連携調整等の支援を一定の期間にわたり行うサービス』となっております。今回は、ワークわく・きよさとの(手探りの状況ですが…)取り組みをご紹介したいと思います。

まずは、「就労定着支援」のイメージ図です。

利用期間のイメージ

就労移行支援事業所を経て就職した方は就職して6ヶ月間はそれまで利用していた事業所で職場定着支援を受けます。6ヶ月経過後に新たに就労定着支援事業所と契約を結び最長3年間がサービスを受ける期間となります。



現在、「就労定着支援」を利用している、主な4人をご紹介します。



Hさん 25歳
定着 H28.12月
仕事 機内食関係

シフトが出ると、
連絡があり、
来所面談。
世間話が多いです。



Tさん 65歳
定着 H29.2月
仕事 用務員

環境整備などの
作業の際には
助っ人として
参加してくれます。



Aさん 36歳
定着 H29.3月
仕事 食品製造

仕事が休みの土曜日に
来所。一日作業を
手伝ってくれます。
会社へも出向いて
話し合いもしました。



Tさん 40歳
定着 H30.3月
仕事 廉房

毎日、ワークの前を
通って通勤。
行事の際は、
遊びに来てくれます。

Aさんの言葉

会社に、なんでも相談できる人はいます。でも、その人に相談しづらいことを相談できるので安心です。困ったことがあった時、会社の担当者と話し合いをしてくれました。これからもよろしくお願いします。